

広報

あしや

2003年11月15日号  
(平成15年) No.880

毎月1日・15日発行

発行 / 芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659-8501

兵庫県芦屋市精道町7番6号

ホームページ

http://www.city.ashiya.hyogo.jp/

メールアドレス

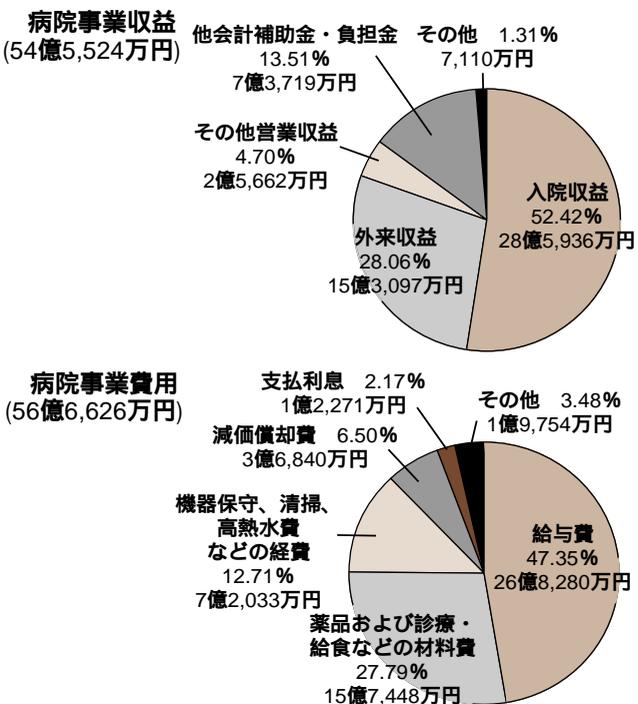
info@city.ashiya.hyogo.jp



“阪神タイガース 優勝報告会”を開催

10月29日、JR芦屋駅北側広場で阪神タイガースのリーグ優勝報告会を開催。山中市長から星野前監督に市長特別賞を贈呈し、詰めかけた約1,000人の皆さんと共に、優勝を祝いました。

	平成14年度	平成13年度	増 減
入院			
延べ患者数	85,417人	87,317人	1,900人
1日平均患者数	234.0人	239.2人	5.2人
病床利用率	86.0%	88.0%	2.0%
外来			
延べ患者数	152,671人	164,947人	12,276人
1日平均患者数	623.1人	673.3人	50.2人
診療日数	245日	245日	0日
病院事業収益	54億5,524万円	54億0,840万円	4,684万円
病院事業費用	56億6,626万円	56億1,972万円	4,654万円
純 損 失	2億1,102万円	2億1,132万円	30万円
累積欠損金	50億3,509万円	48億2,407万円	2億1,102万円



平成十四年度は、入院患者数八万五千四百七十七人と前年度より一千九百人減少し、外来患者数は十五万二千六百七十一人と前年度より一万二千二百七十六人の減少となりました。経営状況につきましては、病院事業収益五十四億五千五百二十四万円、病院事業費用は五十六億六千六百二十六万円で差し引き二億一千一百二十六万円を差引しました。

万円の純損失となり、累積欠損金は五億三千五百九十九万円となっています。医療機器につきましては、定期的に整備していく必要があるため、全自動尿中有形成成分分析装置、全自動化学発光酵素免疫測定装置、電子内視鏡ビデオヒストロスコープ、内視鏡洗浄装置、電動油圧手術台、生体情報モニター、全自動洗濯脱水機・乾燥機、電動ベッド13台 ほか18件

学発光酵素免疫測定装置、電動油圧手術台、内視鏡洗浄装置、電動ベッド等を購入しました。

**平成14年度 工事および医療機器取得に関する事項**  
【医療機器等購入】  
全自動尿中有形成成分分析装置、全自動化学発光酵素免疫測定装置、電子内視鏡ビデオヒストロスコープ、内視鏡洗浄装置、電動油圧手術台、生体情報モニター、全自動洗濯脱水機・乾燥機、電動ベッド13台 ほか18件  
\*建設改良工事および医療機器購入の財源として、平成12年度までは年金積立還元融資を充当しています。

信頼され、選ばれる市民病院をめざして

芦屋病院 会計決算報告

芦屋病院 ☎2156

病院事業の経営状況は、平成十五年より医療保険制度の改定があり、さらに厳しい状況となっておりますが、公立病院としての役割を認識しながら、さらなる経営改善に今後とも取り組んでまいります。

平成15年 第4回市議会定例会の日程

平成15年第4回定例会は、12月2日(火)に招集され、19日(金)までの日程で開催する予定です。  
本会議・各委員会の予定は次のとおりです。傍聴を希望される場合は、日程が変更になることがありますのでお確かめの上、ご来場ください。

12月1日(月) 【議会運営委員会】  
12月2日(火) 【本会議】 決算特別委員長報告、討論、採決、議案提案説明等  
12月3日(水)・4日(木)・5日(金) 【各常任委員会】 補足説明、質疑、討論、採決  
12月8日(月) 【議会運営委員会】  
12月9日(火)・10日(水) 【本会議】 一般質問等  
12月18日(木) 【議会運営委員会】  
12月19日(金) 【本会議】 委員長報告、討論、採決等  
問い合わせ 市議会事務局 ☎38-2001

第23回あしや健康福祉フェア

日時 11月29日(土)午前10時～午後4時

～みんなでつくろう健康・福祉21～  
かがやき・きらめく・くらしと健康

- 【健康相談フロア】会場：保健センター  
歯の相談・内科の健康相談、薬の相談・健康茶の試飲コーナー、血液サラサラチェック、歯の健康パネル展示、かかりつけ薬局パネル展示、栄養相談(生活習慣病予防)
- 【食生活フロア】会場：保健センター  
大豆で健康的に...大豆を使った料理の実物展示・大豆についてのパネル展示、大豆を使ったお菓子(試食コーナー)
- 【健康づくり・看護フロア】会場：保健センター  
からだバランスチェック(先着順)アルコールバッチテスト、血圧、体脂肪測定、飲酒と食に関するパネル展示、薬物乱用予防教室、がん予防・感染症予防のパネル展示、“エンジョイ!キッズひろば”・親子体操・工作コーナー・ボールプール・積み木だわっしょい

- 【福祉フロア】会場：医師会医療センター  
在宅介護支援センターの活動内容の展示・相談、民間給食の展示、相談コーナー(障害等)、小・中学生によるポスター展
- 【すこやか講演】会場：医師会医療センター  
時間 午前10時30分～正午  
内容 『家庭で考える育児』  
講師 神戸常盤短期大学幼児教育科講師 小崎恭弘氏  
時間 午後1時45分～2時45分  
内容 『親子のこころの育ちあい』  
講師 神戸大学発達科学部教授 伊東恵子氏  
時間 午後2時45分～4時  
内容 『血栓症の予防と治療 ～血液の流れをよくするには～』  
講師 野村医院院長・間瀬勘史氏

芦屋を愛するデザイナーの皆さんへ  
新年度「広報あしや」デザイン募集  
「広報あしや」のロゴや全体のレイアウトをご提案ください。ご提案いただいた中からそれぞれ1点を選定委員会(山中市長ほか)で選定し、平成16年4月号から「広報あしや」の新しい顔として採用します。ご提案に対する謝礼・使用料等は一切ありませんが、広報紙上でご紹介し、感謝状を贈呈します。  
サイズ タブloid判(現在の「広報あしや」と同じ大きさ)  
内容 表紙ロゴ「広報あしや」各コーナーロゴ  
毎月1日号(8ページ)と毎月15日号(4ページ)の各紙面レイアウト(文字の大きさ、書体、字数、段数等)  
申し込み 12月15日(月)までに広報課へ郵送または持参  
問い合わせ 広報課 ☎38-2006(〒659-8501 精道町7-6)

問い合わせ 保健センター ☎31-1586



# 教育の EDUCATION ページ

このページの問い合わせは  
打出教育文化センター(☎38-7130)へ

## 打出教育文化センター こんな研修を進めています

打出教育文化センターでは、市内学校園の教職員の指導力の向上を図るために、現代の教育的ニーズに合わせた研修を実施しており、より良い教育の実現をめざして、毎年1,000人近い教職員が参加しています。また、年間を通して、課題ごとの研究開発や、保護者を対象とした「教育相談」も実施しています。



教師のためのプレゼンテーション・センスアップ

### 15年度の研修テーマ

- 6月 小学校英語活動研修  
ふれあい遊び(仲間づくりプログラム)
- 7月 学校園で活用できる折り紙  
子どもたちが目を輝かせる道徳自作資料を使った実践  
メディアの中の女性像・男性像を読み解く  
読みきかせ - 子どもの言葉を育てるために  
<情報教育講座>  
「園児をひきつけるプレゼンテーションをつくろう」  
「ワード・エクセルを使って文書を能率よくつくろう」  
「インターネットを利用して情報を得る」  
「使いこなそう！デジカメ」  
「授業に生かせる教材づくり」(インターネット)  
「ワードで学級通信や新聞をつくろう！」  
「自分のホームページを作ろう！」  
「エクセルで集計やデータ整理の効率をアップ」
- 8月 対人関係の苦手な児童生徒の指導と援助  
子どもの成長エネルギーを高める指導・援助のあり方  
ストレスとうまくつき合おう！  
発達障害(LD・ADHD・自閉症等)の理解と支援  
楽しさ・豊かさ・新しさのある授業(国語科)  
読みきかせ～子どもの言葉を育てるために～  
子どもの人権～児童の虐待・その実態～  
理科のおもしろ実験とものづくり  
心の教育～子どもの心が動くまで～  
簡易な教材製作と楽しみのある理科実験  
問題解決能力を育てる授業作りの実践  
教師のためのプレゼンテーションセンスアップ講座  
コンピュータ活用事例(家庭科)  
学校園の野菜作り～お勤め野菜の栽培法～  
カメラ付き携帯を活用した授業(生活科)  
<情報教育講座>  
「ワードで学級通信や新聞をつくろう」  
「自分のホームページを作ろう！」  
「エクセルで集計やデータ整理の効率をアップ」  
「魅力的なプレゼンで子どもたちを引きつける」  
「使いこなそう！デジカメ」  
「デジタルコンテンツの活用事例に学ぶ」  
「授業に生かせる教材づくり」(インターネット)
- 10月 自然観察「岩園天神社付近」  
カウンセリングマインドを生かした学級経営
- 11月 ふれあい仲間づくり～動いてつかもう授業・保育のヒント～  
心に響く話し方～発声トレーニングと話の組み立て方～



夏季情報教育講座

情報教育講座では、各学校に整備されているコンピュータを使ったプレゼンテーションや情報収集など授業への効果的な活用を図るため、新しい試みを始めています。



理科のおもしろ実験とものづくり



発達障害の理解と支援

読み聞かせ  
～子どもの言葉を育てるために～



### 打出教育文化センターの教育相談

打出教育文化センターでは、一般的な教育相談や情緒不安・発達遅滞など幼児や生徒等の教育相談と遊戯療法を行っています。保護者のかたとともに考え、必要に応じて幼稚園・学校とも連携を図っています。

対象 市内在住の幼児・児童・生徒(高校生まで)と、その保護者  
内容 教育相談(平日の午前9時～午後5時) <電話・面接>  
教育相談員が、不登校・学習障害(LD等)・学校における悩みの相談をお聞きします。  
遊戯療法(火・木・金曜の午後1時～5時) <要予約>  
セラピストが、情緒不安等のある幼児・児童を対象に実施。  
保護者には教育相談あり。\*遊戯療法は、1時間単位です。  
会場 打出教育文化センター(打出小槌町15-9)

### 先生の研修講座

今年度は、左表のテーマで専門的な研修を実施しました。  
一学期研修講座では「小学校英語活動」や「仲間づくりプログラム」など、学校園ですぐに学習や学級づくりに生かせる実技を中心に実施しました。

課題についての講座を実施し、子どもの人権や心の教育について、いっそう配慮される学級づくり、授業づくりをめざしています。

### 研究部会と課題

総合的な学習部会  
「問題解決能力を育てる授業作り～評価規準に基づいた効果的な指導と支援～」をテーマとして、授業実践について研究

情報教育部会  
「情報教育の効果的な使用方法の実践」をテーマに、授業の中で、情報機器・情報通信ネットワークなどを活用し、学習効果を深める実践について研究

学級経営部会  
「一人一人を生かした学級経営」を研究テーマとして、児童生徒の内面理解に基づいた個を生かす学級経営について研究

基礎・基本部会  
「基礎・基本の学力の定着を図る指導方法～読み・書き・計算(見える学力)を中心に」を研究テーマとして、基礎基本の学力の定着、充実を図るための指導過程・指導方法について研究

### 歴史散歩 55

芦屋ゆかりの人々  
鳥居 素川

夏目漱石が東京大学の職をなげうって、朝日新聞に入社したのは明治四十年のこと。漱石の朝日入社に尽力したのが、当時、芦屋山手の山荘に暮らした鳥居素川(二八六七～一九一八)であることは、意外に知られていない。

素川は明治中期から大正初期にかけて、言論界に活躍した記者であるが、朝日新聞に入社後は東京朝日の池辺三山とならび大阪朝日の論客として健筆をふるった。

彼の伝記『鳥居素川』(時事通信社昭和三十七年刊)によると、「素川は明治三十九年のある日、芦屋の浜に近い小川の片ほとりに寝ころんで漱石の『草枕』を読んで大いに感心し、同時に漱石を朝日に招聘したいという考えが電光のように脳裡にひらめいた。それから『草枕』を村山社長に読ませ、三山とともに村山社長に漱石招聘の議を提案した」ということになっている。かくして、漱石は朝日新聞社に入社したわけだが、その発端が芦屋河畔にあったとは何とも興味深いエピソードではないか。

素川が暮らした明治三十九年の芦屋は、精道村と呼ばれた頃で、前年には阪神電鉄が梅田・三宮間を開通させている。つまり、素川は開通間もない阪神電車で、大阪に通ずる郊外生活者の先駆的な存在でもあった。以後、素川のすすんで大阪朝日に入社した長谷川如是も芦屋山手に越してくるなど、当時の芦屋は文士の文化村の様相を呈していた。



「芦屋山荘の素川」(『鳥居素川』から)

問い合わせ 美術博物館 ☎5432